（様式1）Ver.2023.10.1

|  |  |
| --- | --- |
| 所属長 | 動物実験管理者 |
|  |  |

受付番号（行政本部記入欄）

|  |
| --- |
|  |

**動物実験計画申請書**

申請日：　　　　年　　　月　　　日

**中京大学長　殿**

（申請者）

|  |
| --- |
| 所属：　 |
| 職名：　 |
| 氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ※申請者が大学院生の場合は、下記に指導教員名、職名欄には学籍番号と学年を記入指導教員：　 |

中京大学動物実験規程第7条に基づき、動物実験を申請します。

**≪　動物実験計画書　≫**

**Ⅰ．基本事項**

|  |  |
| --- | --- |
| 1． 課題名 | 　　 |
| 2．申請の種類 | 　[ ] 　新規　[ ] 　継続　（　　年度　承認番号　　　　　）　[ ] 　その他（　　　　　　　　　　） |
| 3． 実験の種類 | 　[ ] 　試験・研究　[ ] 　教育訓練　[ ] 　その他（　　　　） |
| 4． 実施体制 | 　【責任者】（氏名、所属、職名、教育訓練の有無、経験年数）　【実施者】（氏名、所属、職名、教育訓練の有無）①②③ |
| 5． 実験実施期間 | 　　　　年　　　月　　　日　から　　　　年　　　月　　日まで　　※研究期間は最長5年　 |
| 6．実施場所 | 　実験室　 | 　　　　　　　キャンパス　　　　号館　　室名 |
| 　飼養保管施設　 | キャンパス　　　　号館　　室名 |

**Ⅱ．実験計画の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 7．目的・意義 | 　　 |
| 8．実験の概要・実験方法 | 　　　 |
| 9．動物実験を必要とする理由 | 　[ ] 　検討したが、代替手段がない　[ ] 　検討したが、代替手段の感度・精度が不十分　[ ] 　その他（　　　） |
| 10．特殊実験の有無 | 　[ ] 　安全管理に注意を要する動物実験に該当しない　[ ] 　その他（　　　）　 |

**Ⅲ．実験動物の種類、使用数等**

|  |  |
| --- | --- |
| 11． 使用動物 | 　【動物種】　　【系統】　　【性別】　　【使用数】　　【備考】　 |
| 12．使用数の算出根拠 | 　　 |
| 13．入手方法 | 　[ ] 　購入　（業者名　　　　　　　　　　　　　）　[ ] 　譲渡　（譲渡元　　　　　　　　　　　　　）　[ ] 　その他（　　　　　　　）　 |

**Ⅳ．実験動物の苦痛、処置**

|  |  |
| --- | --- |
| 14．動物に対する実験的処置 | 　　 |
| 15．想定される苦痛のカテゴリー（SCAW分類） | 　[ ] 　Ｂ：　動物に与える不快感が軽度であると思われる実験操作　[ ] 　Ｃ：　軽度なストレスあるいは短期間持続する痛みを伴う実験　[ ] 　Ｄ：　避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験　[ ] 　Ｅ：　麻酔をかけずに意識のある動物に対して、動物が耐えることのできる最大の痛み、あるいはそれ以上の痛みを与えるような処置 |
| 　【上記分類の判断根拠】　 |
| 16．苦痛の軽減方法  | 　[ ] 　短期間の保定・拘束など、軽微な苦痛の範囲内なので特に措置を講じない。　[ ] 　麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。（薬剤名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　[ ] 　動物が耐え難い痛みを伴う場合、安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。　[ ] 　科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず考慮しない。　[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　 |
| 　【人道的エンドポイントを適用する場合の判断基準】　 |
| 17．安楽死の方法 | [ ] 　過剰量の麻酔薬投与（薬剤名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　[ ] 　炭酸ガスの吸入　[ ] 　中枢破壊　[ ] 　安楽死させない |
| 18．死体の処理方法  | 　[ ] 　外部業者に委託　（業者名　　　　　　）　[ ] 　その他（　　　　　　　） |

**Ⅴ．飼養保管**

|  |  |
| --- | --- |
| 19．飼育条件  | 　　 |
| 20．保管条件 | 　　 |
| 21． 飼養保管期間 | 　[ ] 　項目5の実験実施期間と同じ　[ ] 　　　　年　　　月　　　日　から　　　　年　　　月　　日まで　　 |
| 22． 飼養者 | （所属、職名、氏名、教育訓練の有無、経験年数） |